

子ども・若者
関連情報

外国人学校に在籍する児童・生徒の保護者に補助金を交付します

多摩市に住民登録をしている外国人のうち、外国人学校に在籍している児童・生徒(小・中学校に相当する年齢)の保護者で、次のすべてを満たす方①児童・生徒と同居している②その者を養育している③その者の在籍する外国人学校の授業料を納入している月額1,000円交付対象期間令和7年4月分～令和8年3月分備考申請書は公式ホームページに掲載の他、ベルブ永山4階学校支援課、聖蹟桜ヶ丘駅・多摩センター駅各出張所で配布ID1003695申問3月2日(月)～13日(金)に、申請書を直接、学校支援課☎(338)6876へ

みんなで楽しく「離乳食講習会」～レパートリーを増やそう！ステップアップコース～

3月24日(火)午後1時30分～3時健康センター対令和7年5月～8月生まれの子どものがいる方定25人(申し込み先着順)持ち物母子健康手帳(親子健康手帳)、筆記用具など備考試食あり。受講経験者は受講不可。第2子以降も受講可ID1003426申問2月25日(水)から、公式ホームページのインターネット手続きで、こども家庭センター「にじたま」☎(376)9177へ

乳幼児の健診事業

受付時間午後1時～1時45分健康センター対3～4カ月児健康診査(内科・産婦健康診査)、1歳6カ月児健康診査(内科・歯科)、3歳児健康診査(内科・歯科)持ち物母子健康手帳(親子健康手帳)、問診票ほか備考対象者には個別通知。転入の方は要連絡ID1003433問こども家庭センター「にじたま」☎(376)9177

育児相談

3月25日(水)午前9時10分～10時30分健康センター対乳幼児定20人(申し込み先着順)内身体計測、育児相談、栄養相談など持ち物母子健康手帳(親子健康手帳)ID1003429申問2月24日(火)から、公式ホームページのインターネット手続きで、こども家庭センター「にじたま」☎(376)9177へ

妊婦歯科相談

3月25日(水)午後1時30分・2時30分(各1時間程度)健康センター対妊娠している方定20人(申し込み先着順)内歯科衛生士による歯みがき実習・唾液検査、歯科医院の案内、赤ちゃんの防災準備、希望者は栄養士と食事相談持ち物母子健康手帳(親子健康手帳)、いつも使っている歯ブラシID1003405申問電話または直接、こども家庭センター「にじたま」☎(376)9177へ

お寄せいただいた「市政への提言」から

ID1019112問秘書広報課☎(338)6806

公式ホームページや専用はがきなどでお寄せいただいた「市政への提言」とその回答を簡潔にまとめたものです。

●自然環境の保護保存についての要望

・市民からのご意見(令和7年7月)

つい10年ほど前には市内でも、コノハヅクやアカゲラなどの森林の野鳥が普通に見られましたが、最近では見ることが皆無になりました。

下草などを無秩序に刈り込んだり、野鳥の寄ってない、名ばかりのサンクチュアリが目につきます。野鳥の餌場となる樹の実のなる樹木を増やしたり水飲み場の小池を設けたりして、森林の鳥も普通に見られる環境を整備すれば市民の心に潤いをもたらし、市外からの野鳥観察者など訪問者も増えて、市の発展にもつながっていくことと思います。

一つの提案ですが、ご検討ください。

・回答(環境政策課)

市では昨年度、市内に生息する生きものの状況を把握するため、「多摩市生きもの調査隊」を結成して市民参加型で生きもの調査を実施しました。その結果、1年間で1,575種の生きもの、鳥類だけでも

117種が確認されました。中にはご指摘のあった、コゲラやアオゲラなど森林に生息するキツツキ目に分類されている鳥類も多く確認されています。

また、多摩川は大変多くの鳥が賑わう場所となっており、特に大栗川との合流点付近は1年を通して野鳥を観察することができ、市外からも多くの野鳥愛好家が訪れる人気のスポットとなっています。

今後も市では、多摩市みどりと環境基本計画に定める「生物多様性の拠点」を中心に水とみどりの保全を進め、多様な生き物が生息・生育しやすい空間づくりに努めていきます。その際は、ご提案いただいたことも参考とさせていただきます。



▲野鳥(アオゲラ)

多摩市生きもの調査隊の調査結果を取りまとめます
～市民による10万件の観察記録～

ID1019490問環境政策課☎(338)6831・FAX(338)6857

生物多様性を守るためには、まず地域の自然を調べ、把握していくことが大切です。その他にも、自然環境への理解と地元愛を深め、地域全体で生物多様性を守る力をつける必要があると考えています。

市ではこの考え方のもと、令和6年4月からNPO東京生物多様性センターと協力し「多摩市生きもの調査隊」を結成し、生きものを楽しみながら記録する取り組みを進めてきました。その結果、プレ調査を含め令和2年1月～令和7年12月に10万件以上の観察記録が報告され、その結果、市内に約2,000種もの生きものが存在していることがわかりました。

今回、この調査結果を「多摩市生きもの調査レポート」として取りまとめます。レポートは3月中に公式ホームページに公開予定です。お楽しみに。

●レポート概要

- ・調査結果
- ・生きものロケーションガイド
- ・絶滅危惧種などの重要種
- ・多摩市の外来種
- ・気候変動による生息域の変化
- ・多摩市の生物多様性のホットスポット



▲「多摩市生きもの調査レポート」

●調査隊員の協力でわかったこと

報告された情報は、市の生物多様性の保全だけでなく、地球温暖化対策を含めた環境政策全体を進めていくうえで非常に大切な基礎データとなります。

調査隊員の皆さんの協力によって、貴重な重要種や、対策が求められるような侵略的外来生物などを把握できたことに感謝申し上げます。

・発見された重要種 ※()内は撮影者



▲サラサヤンマ(nakayama-7mt)



▲タカチホヘビ(arigumo)



▲キンラン(j_kermit)

・発見された特定外来生物 ※()内は撮影者



▲ハイイロゴケグモ(tama_king_fisher)



▲アライグマ(m_sato)



▲オオキンケイギク(mami_t_t)